

株式会社トミー  
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

お問い合わせ先  
TEL 03-3693-9033

ホームページアドレス  
<http://www.tomy.com>

(事業報告書などのIR情報も当社のホームページでご覧になれます。)

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会については毎年3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 配当受領株主確定日 毎年3月31日及び中間配当を行うときは9月30日
- 1単元の株式の数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行される日本経済新聞
- 名義書換代理人 中央三井信託銀行株式会社  
東京都港区芝三丁目33番1号
- 同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- 郵便物送付及び電話照会先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
03(3323)7111(代表)
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

# 2003

Dream

Message

Topics

Report

Network

History

Summary

第53期 中間事業報告書

平成15年4月1日～平成15年9月30日

**TOMY**  
Dream Energy

株式会社トミー

# MESSAGE

## 株主の皆様へ

平素は、株主の皆様にご厚情、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

### 2003年9月中間期

私達トミーは今期に入り、最優先の緊急施策として、商品構成の見直し、成長性・収益性の高い商品へのシフト、製造原価削減、在庫管理の徹底などによる売上原価の削減を行うとともに、希望退職者の募集等による人件費を中心とした販管費の削減を進めてまいりました。

また、トイ事業、ディズニー事業、フロンティア事業、国際事業の4事業を戦略事業として積極的に推進すべく、これらの事業を企画・開発、仕入から販売まで一貫して担う4事業本部からなる本格的な事業本部制を新たに導入しました。それとともに、事業本部長に権限を大幅に委譲して、各事業の特性に合わせた意思決定をスピーディに行ってまいりました。

グループ経営につきましても、EL(自発光型誘電面発光体)技術を用いた実用・実遊戯品の企画・販売を行う(株)グローテックインターナショナルの新設、ディズニー関連の企画・開発事業を専門に行う(株)トミーリンクの新設により、事業領域の拡大を図ってまいりました。さらには技術支援子会社(株)トミーデベロップメントセンターとシンセン(中国)技術センターの機能・連携強化や、同社への品質保証・管理機能の統合に加え、グループ全体の顧客サービス業務などを集約した(株)トミーゼネラルサービスの新設等により、グループとしての効率化と収益向上を目指し、連結経営の強化を図るなど、前期の後半に策定した各種構造改革プランを鋭意実施してまいりました。これらの改革は「利益重視の経営」と「信頼の回復」という基本方針に基づき、「トミー再生」を期して実施されたものですが、そ

の効果は当中間期に業績面で既に現れております。事業面では、国内での「ゆびのりピビ」や海外での「マイクロベビー」など、「マイクロエンターテインメント構想」に基づき、前期のマイクロベビーに次いで企画・開発したオリジナル商品のマーケティングを国内外でさらに推進してまいりました。同構想によるマイクロシリーズは大きな収益源に育ちつつあります。また、最重点事業としてディズニー事業の拡大にグループを挙げて積極的に取り組んでまいりました。これにより、ディズニー商品は引き続き売上も大きく増え、キャラクター事業の中心的存在となっております。さらに、今後の成長の鍵となるトイ周辺事業の一つとして、人気キャラクターの獲得などにより、ゲームソフト等のデジタル分野の強化に努めてまいりました。特に、当中

間期は人気キャラクター「ナルト」を使用したゲームソフトが売上に大きく貢献しました。こうした事業、商品群が順調に推移し、当中間期の全体の売上高は前中間期比で増加したうえに、上記の「緊急施策」やその他の継続的な改革の実施により、原価率の改善と販管費の削減が進んだ結果、利益面で大きく回復しました。しかしながら、中間配当につきましても、今下半期の不確定要因等も考慮して、株主の皆様には誠に申し訳ございませんが、見送らせていただくことといたしました。

私達トミーは前述した各種改革の効果を確固たるものにつつ、今後の新たな飛躍を目指し、「トミーは変革し続ける」をキーワードに、現在、上記の改革の継続と併せて来期を初年度とする中期経営計画を策定中です。その基本的考え方、方向性は以下のとおりです。

### 中期経営計画の策定に向けて

【事業戦略】

- トイ事業を核として、雑貨やアパレル・文具等のトイ周辺事業の強化を図る。
- 大人向け玩具など、新分野、新規事業の開拓にチャレンジする。
- 開発(技術)能力のアップによる「もの作り」での差別化を図るとともに、コンテンツ開発を強化-「2つの開発」を強化する。

### 【生産政策】

【物流政策】

- 「工場出し」から「小売店頭」までのコストの大幅な削減に明確な目標を持って取り組む。

### 【生産政策】

- 技術支援子会社、製造子会社、ネットワーク工場が一体となり、調達、技術、生産、品質、環境面での一連の改革を推進する。

当中間期はおかげさまで業績の回復を見ることができましたが、私達トミーは今後もこれを軌道に乗せ、真の意味での「トミー再生」を果たすべく、全社一丸となって改革の継続と収益の向上に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、新たな飛躍を目指す私達トミーに今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

富山 幹太郎

## MESSAGE

TOPICS  
REPORT  
NETWORK  
HISTORY  
SUMMARY

株主の皆様へ





## おもちゃ業界に新しい常識を！

### 三洋電機とトミーがおもちゃに安心して使用できる充電電池を共同開発



▲「Every Denchi(エブリデンチ)充電電池セット」

今年8月、トミーと三洋電機株式会社は、玩具での使用にも適したニッケル水素電池「Every Denchi(エブリデンチ)」を共同開発し、11月より発売を開始するとを発表をいたしました。デジタル機器の普及とともに、繰り返し使用できる充電式電池の利用は飛躍的に高まってきています。しかしながら、電機機器に使用される充電電池はその高性能さゆえに、子供が対象の玩具業界ではこれまで推奨されていませんでした。昨年度の国内の乾電池市場規模

は約25.4億本であり、そのうち20%以上が玩具用途で消費されていると推定され、使用済み乾電池は廃棄物として処理されているのが現状です。(三洋電機調べ)時代とともに高機能化する玩具は今後ますます電池の使用量が増加すると予想され、玩具にも安心して使用できる充電電池の開発は、経済的側面からも廃棄物処理の側面からも、市場の要求に応えるものであると認識しています。トミーでは、充電式電池におけるリーディングカンパニー三洋電機株

式会社と共同開発を進めることで、おもちゃに安心して使用できる充電電池を提供し、おもちゃ業界に新しい常識を打ちたててまいります。11月に発売の「Every Denchi(エブリデンチ)」は、安全性、経済性、環境対応という3つの大きな特徴があげられます。安全性の面では、電池の温度上昇を抑制する「PTC素子」を内蔵することで、誤った使い方をしても100℃を超える異常な発熱や液漏れの心配がなくなりました。経済性の面では、約500回の繰り返し使用が可能で、また、環境対応の面では、繰り返し使用することで使用量も少なく、最終的にはリサイクルが可能となり、廃棄物の減少につながります。私たちは常に問題意識を持ちながら、子供たちにとって、私たちを取り巻く環境にとって、未来にとってより良くあるために、現状に甘んじることなく、歩を進めていく企業でありたいと願っています。

## 「トミカ」33年目の「Challenge & Change」

### 第37回東京モーターショー会場に、今年もトミカコーナーが登場！

恒例の東京モーターショーが10月25日より11月5日まで、幕張メッセにて開催されました。今年は乗用車・二輪車ショーということで、会期中142万人の来場者で盛り上がりました。トミーでは、3回目となるモーターショーへの協賛により、今年もこども広場に「トミカコーナー」を展開いたしました。



▲「東京モーターショートミーブース」

歴代トミカの展示や、大きなスケルトンのトミカランド、そしてRFID(非接触データキャリア)チップ搭載により遊びが広がるαシステムの体感コーナーなど、親子の会話が弾むブースとなりました。



▲「森永卓郎氏コンセプトカー」

「モーターショーと言えばコンセプトカー」ということで、今年もクルマ好きな方々に、自由な発想で「こんなクルマがあれば…」といったデザインを依頼し、トミカ版コンセプトカーを製作、展示いたしました。「サーキットの狼」のアニメで人気の漫画家 池沢早人師(いけざわさとし)氏デザインの『ICCF-1(アイシーシーエフワン)』は、サーキットの疾風が似合いそうな美しいフォルムのスポーツカー、ミニカー好きで有名な経済アナリ

スト 森永卓郎氏デザインの『B級カー』は、森永氏が提唱する「Bで生きる」ことを楽しむ生活にぴったりな、エコ仕様で財布にも地球にも優しい、キュートな車です。モーターショーは、12月に大阪での開催も予定されております。トミーでは、こうしたイベントへの参加やトミカ博といった独自のイベントの開催により、トミカを通じて、クルマの楽しさを実感していただき、親子のコミュニケーションの架け橋になりたいと願っています。

## 音楽をもっと身近に楽しもう

### 世界のヴァイオリニスト高嶋ちさ子氏「evio(エヴィオ)」にハマル!?

今年イチオシの重点商品として7月に発売したイージーヴァイオリン「evio(エヴィオ)」。イメージキャラクターであるヴァイオリニスト高嶋ちさ子氏を起用したCMはご覧いただけましたでしょうか？



▲「evio 高嶋氏&少女ツェーショット」

7月、都内某所にて行われたCM撮影は、高嶋氏持ち前の明るさもあり、終始なごやかな雰囲気の中、収録が進みました。



◀「evio CM撮影現場風景」

高嶋氏自らが選んだマリンブルーのドレスに身を包み、華麗にヴァイオリンを演奏する姿は、なんとも言えない華やかさがあり、現場に居合わせた者からは一様にため息が…。今回のCMのテーマは「憧れ」。少女がヴァイオリンを弾く高嶋氏に憧れる様子が、画面からも伝わってくるのではないのでしょうか。さらに7月28日には、恵比寿ガーデンルームにて高嶋ちさ子氏とお笑いコンビ「いつもここから」氏による、発売イベントを開催いたしました。「evio(エヴィオ)」は、この11月に、新しい遊びの提案としてヴァイオリ



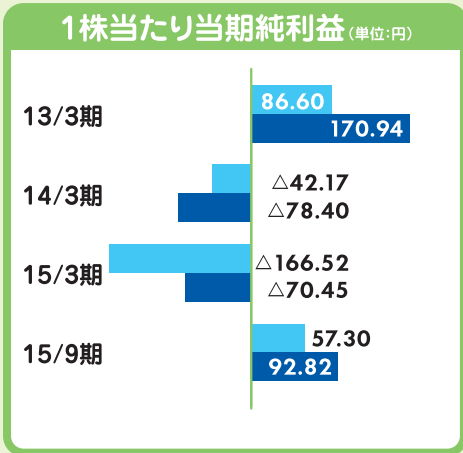
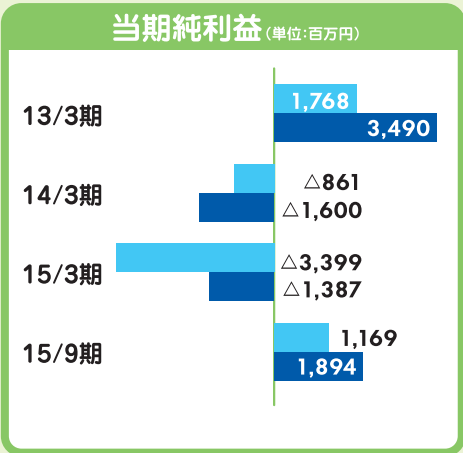
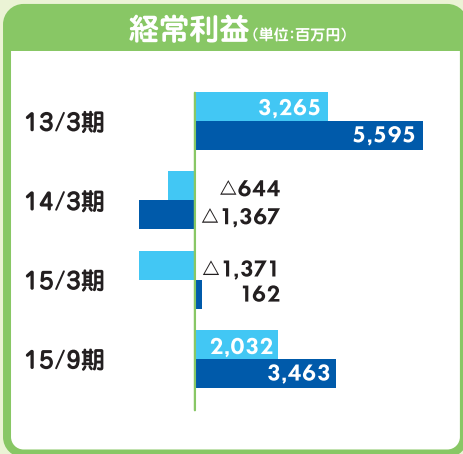
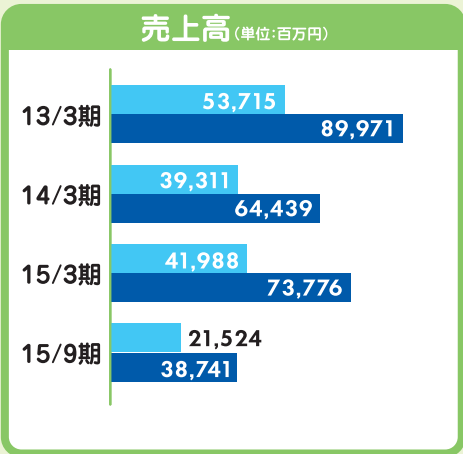
▲「evio 発売イベントトークシーン」

ンの醍醐味であるコンチェルト演奏が楽しめる専用ケーブルとコンチェルト曲を収録したソフト(「evioメディア」)を発売いたしました。今後も、「音楽をもっと楽しく、もっとシンプルに」のコンセプトのもとに、「evio(エヴィオ)」の世界を広げていきたいと考えます。

# REPORT



## 業績の推移



## 当中間期業績の概況

当中間期の日本経済は景気の底入れから、輸出や設備投資に持ち直しの動きが見られ、回復の兆しが現れてまいりました。しかし、円高の加速などにより景気の浮揚力は弱く、玩具業界も全体としては、少子化、遊びの多様化が進むなか、市場を牽引するヒット商品に欠け、引き続き低調なまま推移しました。

こうしたなかで、当社グループは経営体質の改善、収益の向上に取り組んでまいりましたが、当社本体の収益力の回復を最優先に、当社において、売上に占める利益率の高い商品・継続品の比率向上や、コストダウン等による売上原価の削減と、人件費を中心とした販管費の削減などの「緊急施策」をはじめとして、4事業本部からなる本格的な事業本部制の導入、さらには、子会社の新設等によるグループ連結経営の強化など、利益体質の強化に向けた構造改革を積極的に推進して

まいりました。事業面では、当社グループは「マイクロエンターテインメント構想」に基づくオリジナル商品のマーケティングを国内外でさらに推進するとともに、最重点事業としてディズニー事業の拡大にグループを挙げて積極的に取り組んでまいりました。また、今後の成長の鍵

となるトイ周辺事業の一つとして、人気キャラクターの獲得などにより、ゲームソフト等のデジタル分野の強化に努めてまいりました。以上により、当中間期は売上高が38,741百万円(前中間期比14.5%増)となったうえに、上記の「緊急施策」やその他の継続的な改革の実施により、特に、当

社単体での原価率の改善と販管費の削減が進んだ結果、利益面で大きく回復し、営業利益は3,840百万円(同9.7倍)、経常利益は3,463百万円(同56.9倍)、中間純利益は1,894百万円(前中間期は42百万円の損失)となりました。

## 事業別売上高の推移

(単位:百万円,%)

	当中間期		前中間期		前期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
玩具事業	37,463	96.7	32,713	96.7	71,607	97.1
その他の事業	1,278	3.3	1,120	3.3	2,169	2.9
合計	38,741	100.0	33,833	100.0	73,776	100.0



事業別売上高の状況 15/9期 合計: 38,741百万円

## 玩具事業

定番商品のトミカ、プラレールが企画の拡充や売場の再整備などにより、堅調に推移しました。また、「マイクロエンターテイメント構想」に基づくオリジナル商品として、マイクロペットに次いで国内で発売した「ゆびのりビビ」や、米国で発売した「マイクロベビー」が人気を集め、売上に貢献しました。また、ディズニー関連商品の売上も当社のベビートイを含む商品群に加え、(株)ハートランドのぬいぐるみなど、子会社を含めた幅広い分野での商品展開により、引き続き増加しました。さらに、人気キャラクター「ナルト」を使用したゲームソフトが、ゲームとしての面白さに加え、強力な流通網を持つ任天堂(株)との提携などにより、売上に大きく寄与しました。ポケットモンスター関連商品もゲームソフトでの人気再燃、映画公開との連動により、売上が大きく伸びたほか、カプセルトイの売上が海外を含め堅調に推移しました。

この結果、玩具事業全体の売上高は37,463百万円(前中間期比14.5%増)となりました。



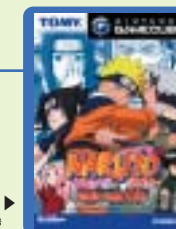
ゆびのりビビ



マイクロベビー



イタズラできた  
© Disney



「NARUTO 激闘忍者大戦!」▶  
© 2003 TOMY  
「NARUTO -ナルト- 忍術全開! 最強忍者大結集」▼  
© 岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ © 2003 TOMY



ミッキーマウス ファンファンタイム  
すずばあ☆レジスター  
© Disney



© 岸本斉史 スコット/集英社・テレビ東京・びえろ © 2003 TOMY



ポケモン図鑑アドバンス  
© Nintendo Creatures GAME FREAK-TV Tokyo-Sho Pro-JR Kikaku  
© Pokémon



学研 科学と学習  
© Gakken

## その他の事業

前期にインスタントカメラのOEM生産の受注がなくなって以降、売上規模は縮小しておりますが、ポケットモンスター関連の収入などが伸び、その他の事業全体の売上高は1,278百万円(前中間期比14.1%増)となりました。





# REPORT



## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成15年9月30日 現在	前中間期 平成14年9月30日 現在	前期 平成15年3月31日 現在
<b>流動資産</b>			
売上増加により、「受取手形及び売掛金」が増えたほか、社債の発行や長短借入金の増加に伴い、「現金及び預金」が増えました。			
<b>固定資産</b>			
「投資有価証券」が売却などにより、減少しました。「繰延税金資産」も減少しました。			
<b>流動負債</b>			
「短期借入金」は増加しましたが、「1年以内償還予定転換社債」が償還され、なくなりました。			
<b>固定負債</b>			
「長期借入金」が増加したほか、「社債」の発行などがありました。			
<b>資産の部</b>			
流動資産	45,763	43,941	44,317
固定資産	11,568	14,569	12,808
繰延資産	30	5	25
<b>資産合計</b>	<b>57,361</b>	<b>58,517</b>	<b>57,150</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	28,347	33,789	30,718
固定負債	8,704	4,547	7,889
<b>負債合計</b>	<b>37,051</b>	<b>38,336</b>	<b>38,607</b>
<b>少数株主持分</b>			
少数株主持分	79	25	64
<b>資本の部</b>			
資本金	2,989	2,989	2,989
資本剰余金	2,936	2,936	2,936
利益剰余金	15,926	15,423	14,078
土地再評価差額金	25	25	25
その他有価証券評価差額金	25	△44	△118
為替換算調整勘定	△1,663	△1,169	△1,425
自己株式	△9	△5	△8
<b>資本合計</b>	<b>20,230</b>	<b>20,155</b>	<b>18,477</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>57,361</b>	<b>58,517</b>	<b>57,150</b>

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
<b>売上高</b>			
マイクロシリーズをはじめとしたオリジナル商品、ゲームソフトなどが好調に推移し、増加しました。			
<b>売上原価</b>			
特に、単体での売上に占める利益率の高い商品・継続品の比率向上や、コストダウン等による原価率の改善が寄与し、全体の売上原価率も低下しました。			
<b>販売費及び一般管理費</b>			
単体での人件費などの経費削減が進んだことにより、減少し、売上高の増加と相俟って、対売上高比率も低下しました。			
売上高	38,741	33,833	73,776
売上原価	23,496	22,003	47,943
売上総利益	15,245	11,830	25,832
販売費及び一般管理費	11,405	11,434	24,678
営業利益	3,840	395	1,154
営業外収益	141	200	391
営業外費用	519	535	1,383
経常利益	3,463	60	162
特別利益	5	3	104
特別損失	3	83	1,417
税金等調整前中間(当期)純利益	3,465	△18	△1,150
法人税、住民税及び事業税	701	471	906
還付法人税等	△0	—	△170
法人税等調整額	851	△461	△531
少数株主利益	17	13	33
中間(当期)純利益	1,894	△42	△1,387



## キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,067</b>	<b>△3,408</b>	<b>3,079</b>
うち、税金等調整前中間(当期)純損益	3,465	△18	△1,150
売上債権の増減額	△6,551	△2,519	1,123
たな卸資産の増減額	△2,319	△3,299	97
法人税等の支払額	△442	△249	△572
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,572</b>	<b>△1,132</b>	<b>△2,744</b>
うち、有価証券の取得による支出	△599	△200	△1,534
有価証券の売却による収入	3,078	514	614
有形固定資産の取得による支出	△1,201	△1,271	△2,219
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,545</b>	<b>3,748</b>	<b>5,596</b>
うち、短期借入金の純増加額	5,285	3,673	2,021
長期借入による収入	500	800	3,600
転換社債の償還	△9,965	—	—
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	16,388	14,887	21,513

当中間期末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、営業活動及び財務活動の各キャッシュ・フローがマイナスとなり、前期末と比較して5,124百万円減少し、16,388百万円となりました。

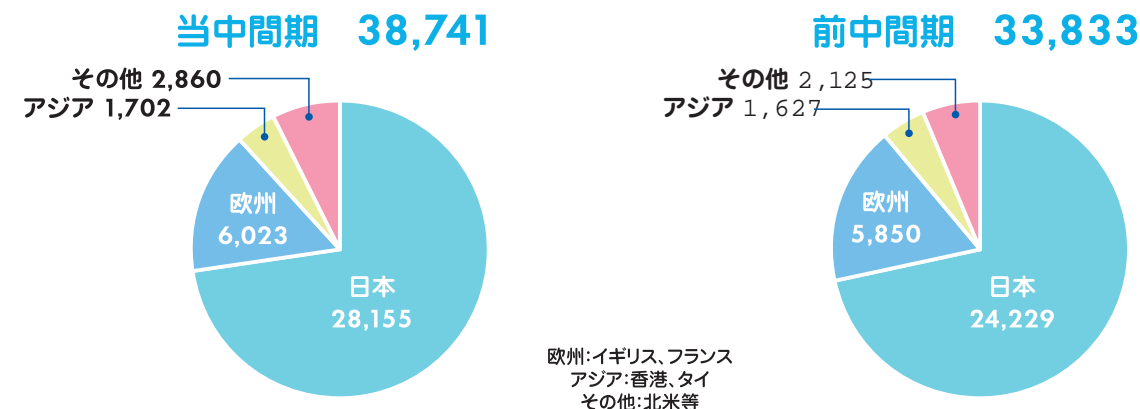
**営業活動によるキャッシュ・フロー**  
営業活動によるキャッシュ・フローは、3,067百万円の支出となりました。これは主として、売上増に伴う売上債権の増加やクリスマス商戦に向けた新商品投入等によるたな卸資産の増加などによるものであります。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
投資活動によるキャッシュ・フローは、1,572百万円の収入となりました。これは主として、有価証券の売却などによるものであります。

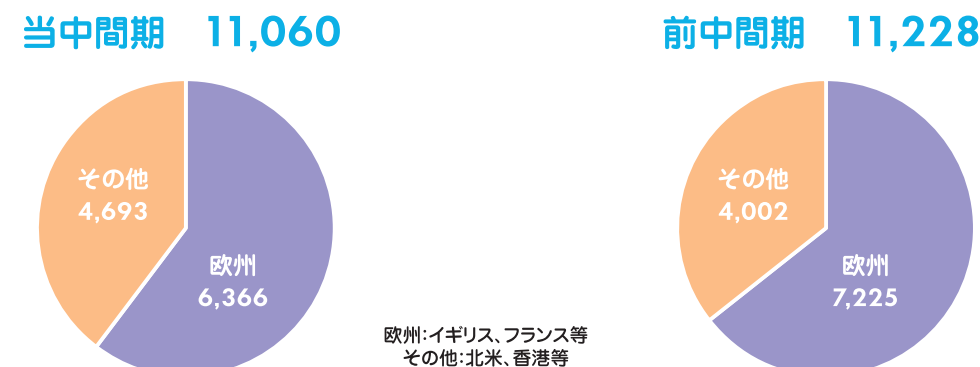
**財務活動によるキャッシュ・フロー**  
財務活動によるキャッシュ・フローは、3,545百万円の支出となりました。これは主として、転換社債の償還などによるものであります。

## セグメント情報

所在地別売上高 (単位:百万円)



海外売上高 (単位:百万円)



# REPORT



## 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成15年9月30日 現在	前中間期 平成14年9月30日 現在	前期 平成15年3月31日 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	29,499	30,218	31,156
固定資産	14,121	17,027	14,548
繰延資産	30	5	25
<b>資産合計</b>	<b>43,651</b>	<b>47,252</b>	<b>45,729</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	18,173	23,049	20,915
固定負債	8,785	5,725	9,442
<b>負債合計</b>	<b>26,958</b>	<b>28,774</b>	<b>30,358</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	2,989	2,989	2,989
資本剰余金	2,936	2,936	2,936
利益剰余金	10,727	12,608	9,557
土地再評価 差額金	25	25	25
その他有価証券 評価差額金	23	△77	△130
自己株式	△9	△5	△8
<b>資本合計</b>	<b>16,692</b>	<b>18,477</b>	<b>15,371</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>43,651</b>	<b>47,252</b>	<b>45,729</b>

## 中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額		
	当中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前期 平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
売上高	21,524	19,524	41,988
売上原価	13,896	13,585	29,838
売上総利益	7,628	5,939	12,149
販売費及び 一般管理費	5,709	6,749	13,614
営業利益	1,918	△810	△1,464
営業外収益	452	522	766
営業外費用	338	287	673
経常利益	2,032	△575	△1,371
特別利益	1,492	1	3
特別損失	1,478	65	1,725
税引前中間(当期) 純利益	2,046	△639	△3,094
法人税、住民税 及び事業税	75	30	0
還付法人税等	—	—	△166
法人税等調整額	801	△322	472
中間(当期)純利益	1,169	△348	△3,399
前期繰越利益	424	628	628
中間配当額	—	—	—
中間(当期) 未処分利益	1,594	280	△2,770

# NETWORK



## 海外ネットワーク

### 欧州

欧州では北米に次いで大きな玩具市場が形成されております。

1982年英国に設立したTOMY UK LTD. は、フランス、ベルギーを除く欧州全域において販売を行っており、英国の幼児玩具の分野では、トップクラスの地位を誇っております。この幼児玩具部門を安定基盤として、カプセルトイの分野にも進出するなど、同社は事業領域の拡大にも注力しております。

1985年フランスに設立したTOMY FRANCE SARL. はフランス、ベルギーでの販売を担当しております。当中間期は2社とも「マイクロエンターテインメント構想」のもと、前期のマイクロベットについて発売されたマイクロベビーが売上に貢献しております。今後、2社の機能統合を軌道に乗せ、欧州における拡販を目指してまいります。



TOMY UK LTD.



TOMY FRANCE SARL.

### アジア

アジアは当社の海外進出の最初の地であり、1970年香港に設立したTOMY (HONG KONG) LTD. がその第一歩となりました。以来、現地の玩具製造業者と技術力、品質管理能力を共有し、優れた商品を世界に提供しております。その品質の高さを裏づけるように、国際標準規格「ISO 9001」を取得、その後、環境管理に関する国際標準規格「ISO 14001」も取得しております。同社はグループ内への商品供給のほか、トミカ、プラレール、ゾイド等の定番・オ

リジナル商品やディズニー関連商品などのアジア向け外部販売にも注力しております。当中間期はアジア販売部門で、ゾイドの売上が伸びております。1987年タイに設立したTOMY (THAILAND) LTD. は、自前の工場と1000

人を超える従業員を有しており、ホンコン同様、トミーグループにおける一大生産拠点となっております。同社は「ISO 9002」を取得しており、コストダウン、生産効率向上に継続して取り組んでおります。



TOMY (THAILAND) LTD.



TOMY (HONG KONG) LTD.



# NETWORK

MESSAGE TOPICS REPORT NETWORK HISTORY SUMMARY

決算情報

ネットワーク

## 海外ネットワーク

### 北米

当社は1973年から世界最大の玩具市場である北米に進出しており、1998年に、それまでの販売子会社を閉鎖し、TOMY CORPORATIONを設立しました。当初は当社グループ商品のウォルマート、トイザラスなどへの販売の支援と情報収集を主な業務としておりましたが、前期より本格的に販売業務に取り組む、米国でのマーケティングを推進しております。当中間期

は昨年のマイクロベットに次いでマイクロベビーを日本、欧州などに先行して販売しました。これにより、同社の収益は前期に引き続き大きく伸びております。また、1999年に当社の子会社(株)ユージンと共同でTOMY YUJIN CORPORATIONを設立し、カプセルトイの販売を開始しました。売上規模はまだ小さいながら、ウォルマート等の主力店舗へのマシンの設

置数の増加に伴い着実に伸びており、今後の成長が期待されます。



TOMY CORPORATION  
TOMY YUJIN CORPORATION

## 国内ネットワーク

### 本社・営業所

- 本社 〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 東京営業所 〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 名古屋営業所 〒461-0003 名古屋市中区錦3-2-1
- 大阪営業所 〒567-0891 茨木市水尾1-1-13
- 九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-17-26

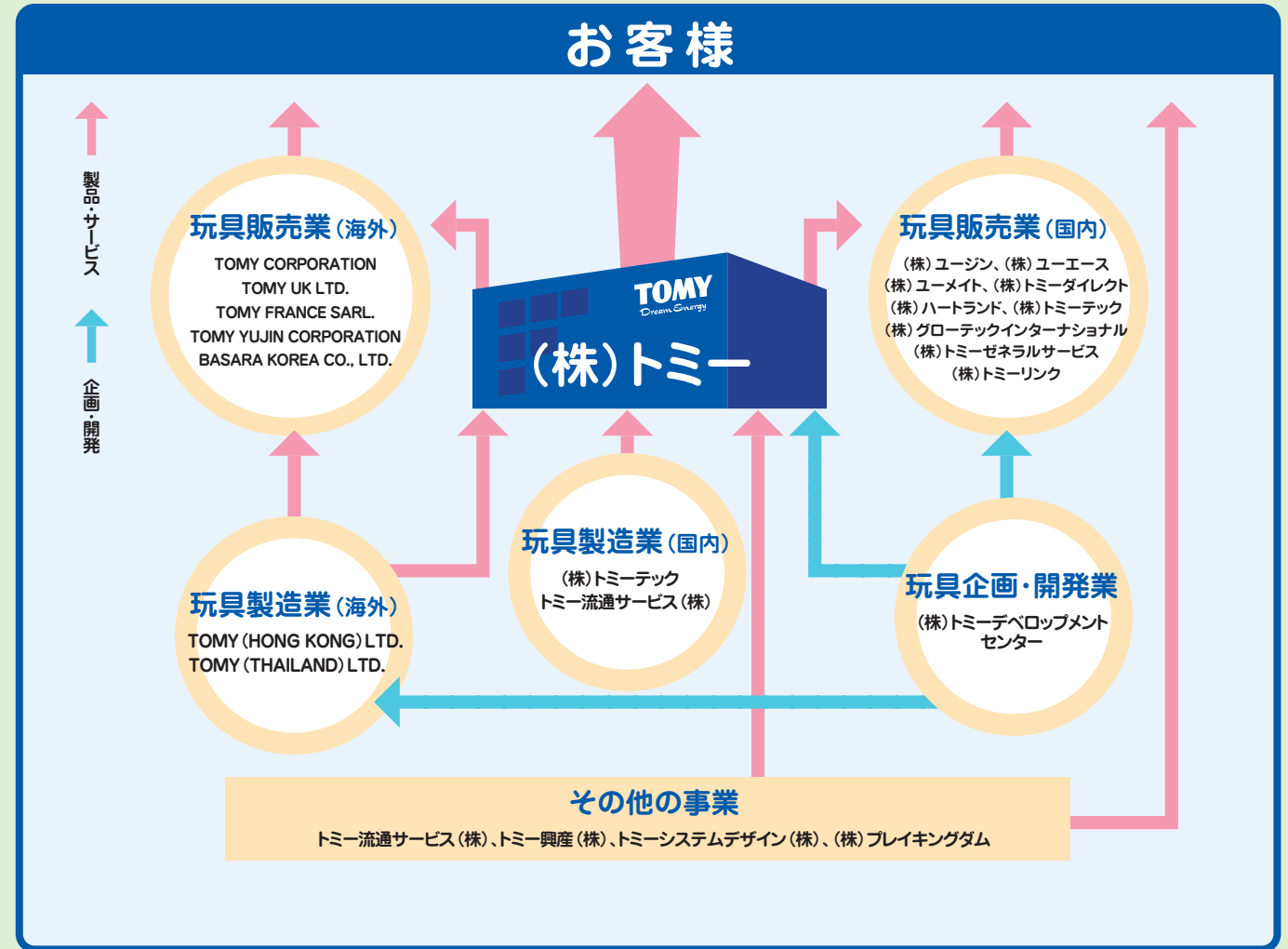


トミー本社

### 国内子会社(14社)

- |                                |                           |
|--------------------------------|---------------------------|
| ● 小物玩具販売 (株)ユージン               | ● 玩具輸入販売 (株)トミーダイレクト      |
| ● 玩具卸 (株)ユーエース                 | ● 物流サービス トミー流通サービス(株)     |
| ● 生活雑貨販売 (株)ユーメイト              | ● 玩具製造販売 (株)トミーテック        |
| ● 玩具雑貨販売 (株)ハートランド             | ● 書籍販売・不動産賃貸 トミー興産(株)     |
| ● 玩具雑貨の企画販売 (株)グローテックインターナショナル | ● システム企画 トミーシステムデザイン(株)   |
| ● 玩具雑貨の企画販売 (株)トミーリンク          | ● 遊戯施設の運営 (株)プレイキングダム     |
| ● 玩具類の企画開発 (株)トミーデベロップメントセンター  | ● アフターサービス (株)トミーゼネラルサービス |

## 事業の系統図



# HISTORY

## TOMY's HISTORY (PART2)

陽だまりでタナゴを釣るや大晦日—— 終戦を迎え、空襲で焼け野原となった東京で、一人またひとりと玩具製造を再開するかつての仲間たちを横目に、富山栄市郎は日がな一日自宅近くの中川で釣り糸を垂れる日々を過ごしていました。「まだ私の番ではない」… そう言い続けた男を、時代は最高の舞台をもって迎えることとなります。

終戦後、玩具業界が徐々に活気を取り戻していく中で、栄市郎はいつかこうに動こうとする気配を見せませんでした。戦争が終わったとはいえ、玩具の原材料は依然統制下にあり、「すべてはヤミの時代」とうそぶく一部の材料業者に、栄市郎は「子どものおもちゃをヤミの材料で作れるか」と一喝したといいます。おもちゃづくりにかける、栄市郎の一本気な思いが伝わるエピソードと言えます。

昭和24年、統制解除を待っていよいよ玩具製造を再開した栄市郎が、満を持して製作に取りかかったのが、全長37cm、両翼の長さ39cm、当時の常識では考えられない大型フリクション玩具「B29」でした。「飛行機の富山」の面目躍如ともいべき「B29」は、その大きさだけでなく、かけそばが15円の時代、500円という破格な値段にもかかわらず、日本橋三越で販売されるや半日で完売するという人気で、業界に大きな衝撃を与えました。そしてその勢いは国内だけにとどまらず、アメリカでも爆発的な人気を博し、大型玩具輸出の先鞭をつけることとなります。

「B29」の生産体制を整えたまさにその年、富山玩具製作所は漏電火災によって全焼するというアクシデントに

見舞われますが、栄市郎は意に介すでもなく、「これを機会に」と製造問屋米沢商会から600万円もの融資を引き出し、大型工場の建設に着手、その間に合資会社三陽玩具製作所として操業を再開、「B29」の増産体制を進めながら、拡大する実需を十二分に吸収できる会社組織として、昭和28年には三陽工業株式会社を設立することとなりました。

しかし、全てが順風満帆のはずだった栄市郎のもとに、突然もたらされた「B29」減産の要請… 製造問屋の言われるがままに設備を拡充し、人員を増やし、増産体制を取り続けてきた販売能力を持たないメーカーは、そしてまた言われるがままに減産体制を敷かねばならず、こうした事態に対応するには、自らの骨身を削ることしか手段はない…そして、栄市郎は3度目となる人員整理という決断を下すこととなりました。

この一件は、栄市郎に大きな教訓を残すこととなります。約80%を輸出に依存しながら、市場の急変への対応は後手に回るという現状は、全てが情報不足から来るものと考えられました。栄市郎は、息子允就とその友人岩船浩の進言に耳をかたむけ、2人に米国の市場動向の調査を命じました。それは栄市郎一流の決断の早さと先見性

の表れといえます。いち早く米国の事情に触れ、米国の玩具メーカーとの格差を目の当たりにしたことは、その後の三陽工業株式会社の方向性に大きな影響を与えることとなりました。

「B29」の教訓は、その後の大ヒット商品「シャボン玉を吹く象」に活かされていきます。国内外での大ヒットにも、冷静に販売予測をたて生産体制をとる…

栄市郎は「市場が変わる」恐ろしさと「二の矢の準備を怠らない」大切さを身をもって感じており、大ヒット商品に踊らされることのない確固とした企業体制、「会社らしい会社」の確立を指向していくこととなります。(文中敬称略)



「シャボン玉を吹く象」

三陽工業の名前の由来は「三つの太陽」にあります。地球上に太陽が三つあれば、世界を24時間照らし続けることができ、当社の製品があまねくゆきわたる、という輸出玩具を手がける誇りと意気込みからの発想に基づくものでした。

# SUMMARY

## 会社概要 平成15年9月末現在

商号 株式会社トミー  
所在地 東京都葛飾区立石7丁目9番10号  
設立 昭和28年1月17日(創業大正13年)  
資本金 29億8,994万円  
発行済株式総数 20,419,299株  
主要事業内容 1. 各種玩具雑貨、食品付玩具類の企画・製造・販売ならびに輸出入  
2. テレビゲームソフト、乳幼児関係商品等の企画・製造ならびに販売  
3. コンピュータのソフトウェアの企画・開発・製造ならびに販売

役員 代表取締役社長兼最高経営責任者 富山 幹太郎  
専務取締役 グループ国内事業担当 兼コンテンツ事業戦略本部特命担当 奥秋 四良  
常務取締役 三浦 俊樹  
常務取締役 グループ海外事業担当 高橋 勇  
取締役 渡辺 泰行  
常勤監査役 松葉 光雄  
監査役 吉成 外史  
監査役 堀内 国宏  
常務執行役員 トイ事業本部長 柳澤 茂樹  
執行役員 コンテンツ事業戦略本部長 沢田 雅也  
フロンティア事業本部長 神尾 俊二  
国際事業本部長 杉山 和彦  
従業員 273名(出向者、嘱託等を除く)  
取引銀行 三井住友銀行 みずほコーポレート銀行  
商工組合中央金庫 東京三菱銀行  
りそな銀行 足利銀行  
東京都民銀行 千葉銀行  
新生銀行 中央三井信託銀行

## 株式の状況 平成15年9月末現在

会社が発行する株式の総数 60,000,000株  
発行済株式の総数 20,419,299株  
1単元の株式数 100株  
株主数 19,118名

## 大株主(上位10名) 当社への出資状況

株主名	持株数	議決権比率(%)
有限会社トミーインシュアランス	2,260,476	11.1
富山 幹太郎	1,963,400	9.6
富山 長次郎	1,856,000	9.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	786,200	3.9
東京中小企業投資育成株式会社	760,156	3.7
ザチュースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	498,700	2.4
富山 優	480,882	2.4
司不動産合資会社	472,680	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	450,000	2.2
富山 章江	434,700	2.1

## 所有株式別株主数比率 所有者別株式数比率

